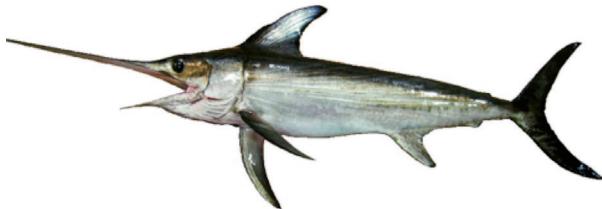


# メカジキ 北太平洋

Swordfish, *Xiphias gladius*

## 管理・関係機関

中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC)  
全米熱帯まぐろ類委員会 (IATTC)  
北太平洋まぐろ類国際科学委員会 (ISC)

## 最近の動き

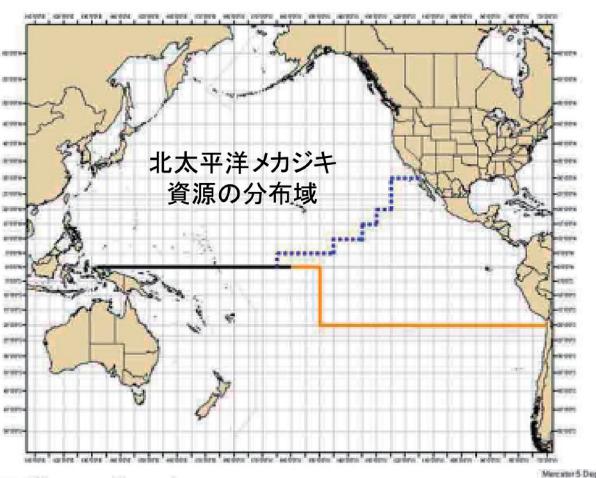
2014 年 2 月に ISC カジキ作業部会において最新の資源評価が行われた。これら結果は同年 7 月に ISC 本会合で承認された後、8 月の WCPFC 科学委員会に報告された。

## 生物学的特性

- 体 長・体重: 4 m (全長) • 300 kg
- 寿 命: 15 歳以上
- 成熟開始年齢: 3 歳
- 産卵期・産卵場: 周年、熱帯・亜熱帯海域
- 索餌期・索餌場: 秋から冬、温帯域
- 食 性: 魚類、頭足類
- 捕食者: 調査中

## 利用・用途

切り身 (ステーキ)、刺身、寿司、煮付け



北太平洋のメカジキ系群の分布域  
中西部太平洋系群の分布は黒線で示した赤道以北の海域、東部太平洋系群の分布は黄線で示した海域、両系群の境界線は青い点線で示した。

## 漁業の特徴

漁獲の半分以上は、本種を主対象に浅く漁具を設置する夜間のはえ縄で漁獲するが、大目流し網、突きん棒、まぐろ類を狙うはえ縄の混獲でも漁獲する。

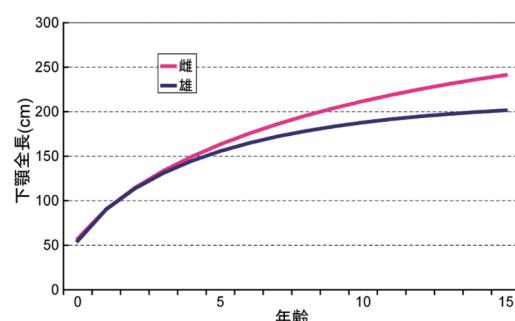
## 漁獲の動向

ISC に報告された本資源の総漁獲量は、1960 年前後に 2 万トンを上まわったが、その後急激に減少し、1 万トン前後に落ち込んだ。しかし 1980 年代以降米国及び台湾の漁獲量の増加により、全体で 1.5 万トン以上になった。漁獲統計はまだ不十分なので今後更に整備する必要がある。2000 年代に入ると、台湾の漁獲量が増加したものの、米国やメキシコの漁獲量が減少したために、総漁獲量は再び減少し、近年は 1 万トン程度となっており、2015 年は 11,100 トンであった。

我が国の漁獲量は、1980 年代後半までは 0.8 万～1.2 万トンであったが、1994 年以降は一貫して減少傾向にあり、2011 年には 4,460 トンまで減少したが、その後若干増加し、2015 年には 5,524 トン（暫定値）へと回復している。1990 年代以降の漁獲量の減少は、遠洋・近海はえ縄による漁獲の減少によるものである。

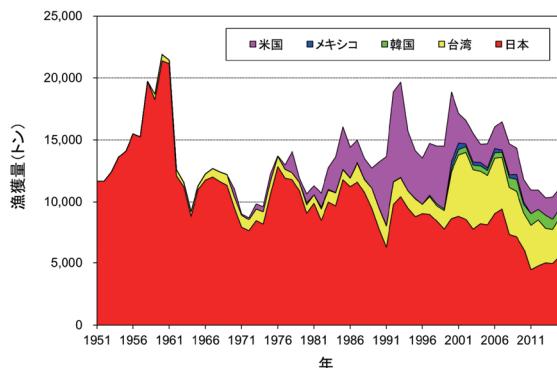
## 資源状態

本資源の最新の資源評価は、ISC カジキ類作業部会において 2014 年 2 月にペイジアン・プロダクションモデルを適用して行われた。中西部北太平洋系群については現在の資源量 (B) は 72,500 トンで  $B_{MSY}$  (60,720 トン) を上回りって乱獲状態なく、漁獲率 (H) は  $H_{MSY}$  を下回っており、漁獲過剰状態ないとされた。東部太平洋北部系群については現在の B は 58,590 トンで  $B_{MSY}$  (31,170 トン) を上回り乱獲状態ではないものの、H は  $H_{MSY}$  を上回り過剰漁獲に陥りつつあるとされた。これらの結果は同年 7 月の ISC 本会合で承認されたのち、同年 8 月の WCPFC 科学委員会に報告された。次回の資源評価は 2017 年に予定されている。

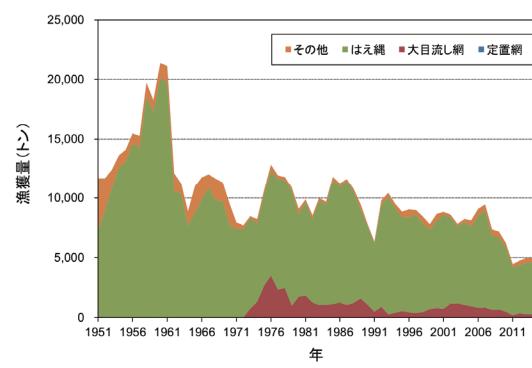


北西太平洋のメカジキの成長曲線 (Sun et al. 2002)

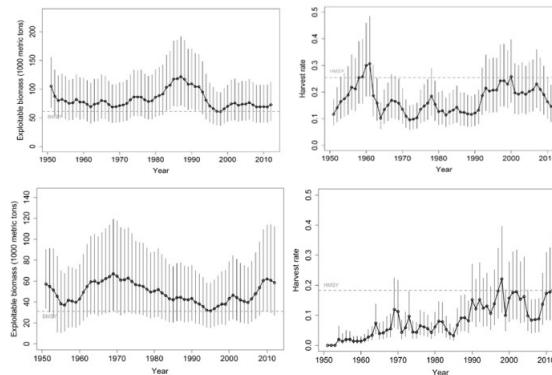
管理方策	資源状態のまとめ
中西部北太平洋系群については、資源状態は健全であるとの ISC の資源評価結果もあり、本資源に関する保存管理措置導入の議論は行われていない。東部太平洋北部系群についても、IATTC において議論は行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中西部太平洋系群：現在の <math>B</math> は 72,500 トン (<math>&gt;B_{MSY}</math>) で乱獲状態なく、漁獲も過剰状態ない</li> <li>■東部太平洋北部系群：現在の <math>B</math> は 58,590 トン (<math>&gt;B_{MSY}</math>) で乱獲状態ないが、過剰漁獲に陥りつつある</li> </ul>



北太平洋（赤道以北）におけるメカジキの国別漁獲量



北太平洋（赤道以北）におけるメカジキの我が国の漁業種別漁獲量



中西部太平洋系群（上図）と東部太平洋系群（下図）のプロダクションモデル解析の結果

左図は、開発可能な資源量（黒丸、1951～2012年）及び最大持続生産量の生産に必要な資源量（点線、 $B_{MSY}$ ）を示す。右図は、漁獲率（黒丸、1951～2012年）及び最大維持生産量の生産に必要な漁獲率（点線、 $H_{MSY}$ ）を示している。両図とも、エラーバーは95%信頼限界を示す。

メカジキ（北太平洋）の資源の現況（要約表）		
	中西部北太平洋系群	東部太平洋系群
資源水準	高位	高位
資源動向	安定	増加
世界の漁獲量 (北太平洋) (最近5年間)	10,315～11,100トン 最近（2015）年：11,100トン 平均：10,735トン (2011～2015年)	
我が国の漁獲量 (北太平洋) (最近5年間)	4,460～5,524トン 最近（2015）年：5,524トン 平均：4,935トン (2011～2015年)	
最新の資源評価年	2014年	2014年
次回の資源評価年	2017年	2017年